

保護者様

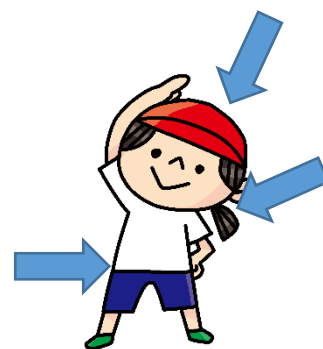
令和 6年 4月 8日
長崎市立外海黒崎小学校
校長 溝川 浩

体育の時間における服装について

本校では、子どもたちが安全で、衛生的に運動できるようにするために、体育の時間における服装のきまりを作っています。今年度も引き続き、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1 夏場

- 帽子をかぶる。(夏・冬共通)
- シャツは、ズボンの中に入れる。
- 髪の毛の長い児童は、ゴムなどで止めてまとめておく。ヘアピンは、けがをする恐れがあるので望ましくない。(夏・冬共通)



2 冬場

① 上着

- トレーナーやジャージ、ウインドブレーカーを体育服の上から着用してもよい。
学習内容によってはパーカー（フードがついているもの）やファスナー、ボタンがついているものは避けるようにする（例：サッカー、バスケットボール、マット、跳び箱運動など）。
- 汗をかくので、必ず体育服の中に着ておき、体が温まったら脱ぐこと。汗をかくことや衛生面、動きやすさから考えて、体育服の下に長そでのシャツは着ない（半そでのシャツを着る）。
保温性に優れた肌着（例：ヒートテック）は体温が上がりやすいので、注意する。
- 冬場の運動場は寒いので、サッカーや縄跳びなど、安全上問題がない場合は手袋やネックウォーマーをつけてもよい。

② ズボン

- 体が温まるまで、ジャージやウインドブレーカーを体育服の上から着用してもよい。しかし、滑ったり、擦れたり、破れたりすることが考えられる種目では脱ぐ。
- 温かくなったら脱ぐことができるように、必ず中に体育服のパンツをはいておく。また、汗をかくことや衛生面、動きやすさから考えて、スパッツやレギンス、タイツなどをズボンの下にはかない。